

みんなで分け合う雨水

村田 真緒

お天気が気まぐれです。日でも雨がつつくこと
ともあるし、きゅうげきなしゅう中ごう雨に
なつてひんが必ようなこともあります。

地球全体では、雨の多い地いきと何日も雨
がふらないで作物がかんそうしてかかれてしま
い、人間や動物が生ぞんできない、きびしい
かんきょうの地いきもあります。

雨水はほうつておくと地めんにしみこんだ
り、海にながれたりしてしまうけど、その前
に工夫して、り用できないかなと考えました。

雨水をためておいて、暑い日にアスファル
トにうち水をして気おんを下げたり、にわか
畑の水やりにり用すれば、水道水のせつ水に
なります。その他にも、防火水そうにためて
おいて防火用水としてもり用できます。雨水
の水やりでグリーンヤを育てて日よけにしたら、
グリーンを使うことがへり、せつ水だけでな
く、電気代もせつやくできると思っています。

わたしはもっとゆめのある活用法を考えて
みました。地球全体の地めんの下に巨大なオ
ムツをしきつめておきます。雨がふると、海
にながれる前に地めん^でオムツにキヤツチし
てすいこんでおくのです。その水分を、地球
のおんだん化をやわらげるために、おん^どを
下げること^にリ用したり、地球の反^は対^{たい}が^がわ^の
さばくや^や礫^{れん}ば^つの地いきの人びと^とが^がリ用した^た
リ^できるようにするのです。

こんなことがかなえられたら、雨の多いと
ころも、雨の少ないところもリよう方が^{べん}
リになり、めぐみの雨を突か^んで^きます。

海にたどりつく前に、雨水を真水のままで
ためることができれば、多くの人がリ用でき
て、多くの人の命もたすか^ろと思^いま^す。

かぎられた水しげんを、地球全体の人間や
生き物でゆずりあいができるよ^うにけん^き
うやかいはつが^が進^んで使^えたら、みんなが^がも
っとも^とやさしくな^れて、よい社会になる
と思^いま^す。